

研究に協力してくださる皆さんへ

これから説明するのは、みなさんが以前に参加してくださった「バンビプラン」という研究で集めたデータ(ビデオや検査の結果)を、あらためて研究に使わせていただきたいというお願いです。

どんな研究なの？

- 研究では、大人と一緒におもちゃで遊んでいるときの行動や会話の様子をビデオから分析します。
 - コンピュータを使って、体の動き(骨格のモデルや姿勢)、声の高さや長さ、会話の内容などを調べます。
 - この研究の目的は、自閉スペクトラム症(ASD)をふくむ子どもたちの特徴を理解して、早い段階での診断やサポートにつなげることです。
-

みなさんがすること

- 新しく何かをしてもらう必要はありません。
 - すでに撮影・記録してあるデータだけを使います。
 - 名前や住所など、個人が特定できる情報はすべて消してから分析します。
-

データの扱いと安全性

- データは番号や記号に置きかえて管理します。名前が外に出ることはありません。
 - 研究結果を発表するときも、個人がわかるような情報は一切出しません。
 - データは決められた期間まで安全に保管し、その後は適切に処分します。
-

研究に協力したくないとき

- 「自分のデータを研究に使わないでほしい」と思ったら、2025年11月30日ま

でに保護者の方に伝えてください。

- ご連絡をいただけましたら、その人のデータは使いません。

質問があるときは、以下にご連絡ください

金沢大学 子どものこころの発達研究センター

吉村 優子

電話:076-265-2856

最後に

この研究に協力していただけると、**子どもの発達や支援の方法**を考えるうえで、とても役立ちます。

よく読んで、協力するかどうかを決めてください。どうぞよろしくお願いいたします。